

令和7年度 教 育 計 画						学校番号 8 7	
上島町立魚島小学校							
校長名	渡邊 秀樹	学級数	1 (0)	児童数	3	教職員数	2

令和7年度 魚島小学校グランドデザイン

《教育目標》

よく考え、進んで実行する児童の育成ー自己教育力の育成ー

【進んで学ぶ子】

- ・分かる・できる・楽しい授業の創造
- ・体験的・問題解決的な学習の充実
- ・豊かな表現力を育む言語活動の充実

【思いやりのある子】

- ・心に響く道德教育の充実
- ・人権・同和教育と福祉教育の充実
- ・地域との交流活動の充実

《目指す児童像》

【最後までやり抜く子】

- ・自ら創造し活動する場の工夫と充実
- ・実践力を育てる特別活動の推進
- ・情報活用・発信力の育成

【地域を大切にする子】

- ・地域を愛する心の育成
- ・地域を意識した環境教育の推進
- ・地域を生かした体験活動の充実

キャッチフレーズ『子どもが笑顔 地域が笑顔 魚島小学校』

《学校》

地域と共にある学校

楽しく温もりのある学校

創意と活力のある学校

〈家庭・魚島さざなみ寮〉
休息と心の栄養補給
夢を育む場

学校運営協議会

〈各種機関・団体〉
学習活動・体験活動等
の共催・連携の場

協働

〈地 域〉
体験・交流の場
伝統と文化の継承

連携

《働き方改革を踏まえた協力体制の強化》

- ・学習支援 ・学校行事支援 ・登下校指導協力
- ・学校環境整備 ・学校支援ボランティア など

<基本的な考え>

- 少人数だからできることを考える。
- 指導すること・気付かせることを意識する。
- 凡事徹底（挨拶・返事、履物揃え、椅子入れ）
- 魚島でしかできないことを考える。
- 人間関係と自尊感情の重要性を意識する。
- 地域への帰属意識を高める。

重点目標	○ 重点目標と具現策 (1) 自ら学ぶ児童を育てる（進んで学ぶ） ア 基礎・基本の確実な定着、分かる・できる・楽しい授業の創造（意欲喚起・持続） イ 読解力・思考力・情報活用能力を育むための本校の強みを生かした学習活動の充実 ウ 自ら学び考え、新しい価値を生み出す力を育てる体験的・問題解決的な学習の推進 エ 豊かな表現力やコミュニケーション能力を育む活動の充実（オンライン交流・授業） (2) 心豊かな児童を育てる（思いやりのある） ア 豊かな体験活動を生かした心に響く道德教育の充実 イ 自他の生命を大切にし、支え合い、共に生きる人権・同和教育と福祉教育の推進 ウ 自己有用感・自己肯定感をバランスよく高める場や機会の設定と規範意識の高揚 エ 幼児・生徒・高齢者・地域の方々との交流活動や幅広い社会体験活動の充実 (3) 進んで実行する児童を育てる（最後までやり抜く） ア 健康安全教育の推進と自己管理能力を高める場の工夫 イ 自主性と実践力を育てる特別活動の推進 ウ 学校行事や集会における自ら創造し活動する場の工夫と充実 エ 学習活動や体験活動を通じた情報活用・発信力の育成 (4) 郷土を愛する児童を育てる（地域を大切にする） ア コミュニティ・スクールを核とした学校と地域の連携・協働による教育の推進 イ 体験的な活動を通じた魚島を愛する心の育成 ウ 豊かな自然環境を守り育てる環境教育の推進 エ 地域の教材・人材を生かした学習活動や体験活動の充実
管理運営	○ 学校運営上の留意点 (1) 人的管理（職務は厳しく、人間関係は温かく） ア 児童・教職員の温かい人間関係と保護者や地域との信頼関係づくりに努める。 イ 適性に応じた校務分掌を基にした協働体制の確立と業務改善・働き方改革に努める。 ウ サービスの厳正と信用保持の徹底と児童・教職員の心身の健康管理に努める。 (2) 物的管理 ア 危機管理能力の向上を図り、安全安心な学校環境づくりに努める。 イ 掲示や栽培、清掃活動を充実し、潤いと温かみのある教育環境づくりに努める。 ウ 情報機器の効果的活用と教材備品の有効活用による業務改善・働き方改革に努める。 (3) 事務管理 ア 共同事務室と連携して、文書等の迅速・正確な処理に努める。 イ 公文書や表簿等、個人情報、金銭の厳正な処理・管理を徹底する。 ウ 業務改善・働き方改革を意識し、校務処理の効率化に努める。
本校教育の特色	○ 本校教育の特色と展開 本校は、児童数3名の離島へき地4級の小規模校である。令和5年度から離島留学制度が始まり、県外出身の2名が寮から通学している。豊かな自然、歴史と伝統、温かい人間関係に恵まれた教育環境の中で、明るく健やかに学校生活を送っている。また、小規模校の良さを生かした中学校を含む異年齢集団の活動は、学校生活に潤いと充実をもたらしている。 (1) へき地小規模校の良さを生かす教育活動 少人数の特性を生かし、児童一人一人に対するきめ細かな学習指導や生徒指導を行うとともに、小中の連携を図った教育活動を推進する。 (2) 地域と一体となった教育の推進 地域の自然・文化・産業・人材を活用した学習活動、地域防災教育、地域行事への積極的な参加など、地域と連携した教育を推進し、社会性や郷土を愛する心を育てる。 (3) 学習活動や各種体験活動を基盤とした表現力や地域に発信する力の育成 学校行事、集会、体験活動などにおいて、一人一人が感想・意見を述べる場を設定するとともに、地域に発信・アピールする場の工夫を行い、表現力の育成を図る。 (4) 情報通信技術（ICT）の活用の推進 タブレットや電子黒板等のICTを活用した授業の工夫・改善、オンラインでの遠隔合同授業や交流により、分かる・できる・楽しい授業の創造と「個別最適な学び」を進め、確かな学力の育成に努める。 (5) 学習支援の充実 全校テストの実施や課題及びその提示の工夫など、児童への学習支援を工夫することにより、学習への興味・関心を高め、学力の定着に努める。